

【本大会の弁論課題について】

Japanese text author: Tomohiro Kakiuchi / English translation: Generative AI (OpenAI ChatGPT) & Tomohiro Kakiuchi

This manuscript was produced with partial assistance from generative AI (OpenAI ChatGPT).

日本語原稿執筆：垣内智裕 ／ 英語翻訳：生成 AI (OpenAI ChatGPT) ・垣内智裕

※本原稿は生成 AI (OpenAI ChatGPT) の部分的な支援を受けて制作しました。

## 2025 年度／第 50 回      幼児   課題

### 1. The Little Seed (33 words)

One sunny morning, I found a tiny seed in the garden.  
I carefully planted it in the soil and gave it some  
water.

“Grow, little seed, grow!”

Then, it slowly began to grow.

#### 小さな種

ある晴れた朝、わたしは庭で小さな種を見つけました。

わたしはやさしく土にうめて、水をあげました。

「大きくなってね、小さな種さん」

すると、種はゆっくり育ち始めました。

## 2. The Growing Plant (42 words)

The little seed grew into a small plant.  
It had green leaves and looked so happy under the sun.  
Every day, I gave it water and sunshine.  
One day, a small bud appeared.  
I said, “I can’ t wait to see your flowers!”

### すくすく育つ植物

小さな種は、小さな植物に育ちました。  
緑の葉っぱは、お日さまの下でうれしそうに見えました。  
毎日、わたしは様子を見に行って、お日さまの光にあてました。  
ある日、小さなつぼみが現れました。  
わたしは言いました。「どんな花が咲くのか、楽しみで待ちきれないよ！」

### 3. The First Flower (67 words)

One morning, the bud opened.

A bright, yellow flower smiled at me.

I clapped my hands and said, “You did it!”

Then, a butterfly came to visit the flower.

It danced and flew around us.

I felt very proud.

My small seed had become a beautiful flower.

I said, “Thank you for growing with me. I love you.”

From that day, the flower became my best friend.

#### はじめての花

ある朝、つぼみが開きました。

明るい黄色の花が、わたしにほほえんでいました。

わたしは手をたたいて、「やったね!」と言いました。

それから、ちょうちょが花を見にやって来ました。

ちょうちょはわたしたちのまわりをひらひらと舞いました。

わたしはとても誇らしい気持ちになりました。

わたしの小さな種が、美しい花になったのです。

わたしは言いました。「いっしょに育ってくれてありがとう。大好きだよ。」

その日から、その花はわたしの一番の友だちになりました。

## 2025 年度／第 50 回 低学年（1～3 年生） 課題

### ① A Rainy Day Adventure (78 words)

One rainy morning, I put on my yellow raincoat and stepped outside.

The sky was cloudy, but I felt excited.

I jumped in puddles, making big splashes.

Then, I saw a tiny snail crossing the sidewalk.

I watched it slowly move and whispered, “You can do it.”

Raindrops fell softly, like music from the sky.

Even on rainy days, special things can happen.

When I got home, I smiled and thought,

“Today was a small but happy adventure.”

### 雨の日の冒険

雨の朝、私は黄色いレインコートを着て、外に出ました。

空はくもっていたけれど、なんだかワクワクしていました。

水たまりにジャンプして、大きなしぶきをあげました。

すると、歩道を渡っている小さなカタツムリを見つけました。

その動きをじっと見ながら、「がんばってね」と小さな声でつぶやきました。

雨のしずくは、空からの音楽みたいにやさしく降っていました。

雨の日にも、すてきなことが起こるんです。

家に帰って、私はにっこり笑い、そして思いました。

「今日は、ちいさくて、うれしいぼうけんだったな」

## 2025 年度／第 50 回 低学年（1～3 年生） 課題

### ② Kindness is Like a Chain (100 words)

One day, my friend forgot her lunch.

She looked down and didn' t say a word.

I broke my sandwich in half and gave her a piece.

She looked up, smiled, and said, "Thank you."

Later, I saw her pick up a pencil for a classmate who dropped it.

That classmate smiled and helped someone carry their art box.

Kindness didn' t stop-it kept moving, from one person to the next.

At home, I helped my dad carry in the groceries.

He patted my head and said, "Small kindnesses makes the world gentle."

Kindness is like a chain-it keeps going.

### やさしさのつながり

ある日、友だちがお弁当を忘れてしまいました。

友だちはしょんぼりして、何も言いませんでした。

わたしは、自分のサンドイッチを半分に割って、「どうぞ」と言いました。

友だちは顔を上げて、にっこり笑って「ありがとう」と言いました。

あとで、わたしはその友だちが鉛筆を落とした子に拾ってあげるのを見ました。

その子はにっこりして、次にだれかの道具ばこを運ぶのを手伝っていました。

やさしさは、そこで止まらずに、次の人へ、また次の人へとつながっていきました。

家では、わたしがお父さんの食料品を運ぶのを手伝いました。

お父さんはわたしの頭をポンとたたいて、「小さなやさしさが世界をやさしくするんだね」と言ってくれました。

やさしさはチェーンのように、ずっとつながっていきます。

## 2025 年度／第 50 回 高学年（4～6 年生） 課題

### ①When My Heart Found Its Voice (98 words)

There was a time when I felt invisible.  
At school, no one noticed me.  
I was just a quiet kid who loved books and drawing.  
But one day, our teacher asked us to draw our dreams.  
I drew a huge, colorful world filled with kindness.  
When I showed it to the class, something changed.  
My classmates said, “Wow! You made this?”  
For the first time, my heart spoke—and people listened.  
That picture was my voice.  
And I realized something: even a small voice can reach others.  
Now, I draw and speak with courage.  
Because every voice matters.

#### 私の心が声を見つけた時

私は、まるで見えない存在のように感じていた時期がありました。  
学校では、誰にも気づかれませんでした。  
本と絵を描くのが好きな、静かな子どもでした。  
でもある日、先生が「夢を絵に描いてみよう」と言いました。  
私は、やさしさであふれた大きくてカラフルな世界を描きました。  
それをクラスに見せたとき、何かが変わりました。  
クラスメートたちは驚いて、「これ、君が描いたの?」と言いました。  
そのとき、初めて私の心が“声”になって、誰かに届いた気がしました。  
あの絵が、私の声だったのです。  
そして気づきました—小さな声にも、誰かに届く力があることに。  
今では、私は勇気をもって絵を描き、言葉を伝えています。  
すべての声に、大切な意味があるのです。

## 2025 年度／第 50 回 高学年（4～6 年生） 課題

### ②The Universe Inside Me (110 words)

At night, I look up at the stars.  
The sky is wide and full of light.  
Some stars are far away, but they still shine.  
Space is so big, and I am very small.  
Still, I don't feel lost.  
Even a small person can feel something huge inside.  
Like kindness, hope, and the wish to understand.  
When I see the stars, I don't just look out—I look in.  
I begin to notice the quiet thoughts in my heart.  
I may not fly through the galaxy,  
but I can imagine, dream, and wonder.  
The universe outside helps me grow the universe inside.  
And that journey, I think, is just as important.

### 内なる宇宙

夜になると、私は星空を見上げます。  
空はひろくて、光であふれています。  
星はとても遠くにあっても、ちゃんと輝いています。  
宇宙はとても大きくて、私はとても小さい。  
それでも、不安にはなりません。  
小さな私の中にも、大きなものがあると感じるからです。  
やさしさや、希望や、なにかを知りたいという気持ち。  
星を見るとき、ただ空を見ているだけでなく、自分の心の中にも目を向けています。  
心の中の、静かな想いに気づくことができるのです。  
銀河を旅することはできないかもしれません。  
でも、想像して、夢を見て、考えることはできます。  
外の宇宙を見つめることで、内なる宇宙が育っていきます。  
その旅も、きっと大切な旅なのです。